



# 校長室だより

もうすぐ夏休み、1学期のまとめの時期です



毎日プールで、子どもたちの歓声が聞こえる季節になりました。先週7月6日(水)～7日(木)には梅雨の合間の好天のもと、5学年の蓼科山登山・キャンプが無事行われました。13日(水)には今年度2回目の「校長講話」があり、以下のような話をしました。

## 『思い出の石』～苦しい時が、一番その人が伸びている時～

全校の皆さん、おはようございます。今日も気持ちよいあいさつが出来ましたね。さて、今日はこの「石」のお話をしたいと思います。この石は実はただの石ではありません。特別な「思い出の石」なのです。先週5年生は登山がありました。登ったのは「蓼科山」です。佐久地域の多くの小中学校はこの蓼科山も含めた「ハヶ岳」に、夏になると学校登山をしています。私の妻はU町出身で、今から30年くらい前にもハヶ岳登山があったそうです。そして、今でもU中学校では「ハヶ岳」登山を続けています。その時登ったのはおそらく「硫黄岳」という山だと思います。さて、妻は中学校2年生の夏、2ヶ月ほど入院をしなくてはならないほどの大きな病気をしてしまいました。その時丁度学校登山があったのですが、長く入院していたため山に登れなかったそうです。クラスの人々と一緒に山に登れなくて、とても残念な気持ちで入院を続けていたのですが、登山が終わってから担任の先生がお見舞いに来てくれて、その時持って来てくれたのが実はこの「石」なのだそうです。そう、この石はハヶ岳の頂上から持ってきてくれた石なのです。その当時、こんな重い石をわざわざリュックに入れて運んで来てくれた担任の先生に本当にびっくりしたそうです。そしてその時先生が今でも忘れられないこんな言葉をかけてくれたそうです。「○○さん、具合はどうですか。手術が終わったばかりで、まだ苦しいよね。でも、苦しい時が、実はその人が一番伸びている時だからね。今が一番伸びている時だよ。頑張ろうね。」と言ってこの石を渡してくれたそうです。この石を山から背負って下りてくるのは大変苦しかったと思うのですが、私のためにその苦しさ、その苦しさの大切さを身をもって教えてくれた先生の姿に感激したと話してくれました。この出来事があって以来、妻は人生の様々な場面で苦しいことがあった時に担任の先生の「苦しい時が、一番その人が伸びている時」の言葉を思い出し、頑張っただけと言っています。私たちの毎日の生活の中にもほんの少しの「苦しい時」が沢山あります。例えば朝マサソんで苦しくて歩きたくなかった時、宿題が大変で投げ出しそうになった時、プールで疲れて立ちたくなかった時、この言葉を思い出して下さい。実はその瞬間が自分が一番成長している大事な瞬間なのです。私もこの言葉を聞いてから、それまでよりほんの少し毎日の生活を頑張れるようになりました。皆さんも毎日の生活の中で苦しいと思った時、「今が伸びている時なんだ！」と思って頑張れるといいなと思い、今日はこの石のお話をしてみました。以上で今日のお話を終わります。

今月の校長室だよりは、「思い出の石」について掲載しました。本校の伝統である「わか竹」のように真っ直ぐに、そして苦しいことにも耐え、粘り強く頑張れる子どもが育つ学校づくりを目指していきたいと思います。学校へのご意見、ご要望等ありましたら、右の連絡先へお問い合わせ下さい。「全ては岸野小学校の子どもたちの笑顔のために!」、「子ども達も先生も、明日も早く行きたいと思う学校づくり」を目指し取り組んでまいります。ご支援・ご協力よろしくお願い致します。

佐久市立岸野小学校

\*ご意見、ご要望、お問い合わせ  
などは、下記までお寄せ下さい。

TEL 0267-62-0384

Fax 0267-62-0542

